

3. 事前の確認事項

★着ぐるみを使用する前には、以下の点を必ず確認しておくこと。

■人員体制■

- 装着・装演をするときは、2人以上で交替して行う体制が理想です
- 1回の装着・装演は30分程度を上限とし、必ず休憩をとる
(最大1人1日4公演までを目安とする)
- アテンダント(補助者)は、必ず2人以上つけ、移動時などの補助を行う
・子どもが集まるイベントでは、アテンダント(補助者)を必ず複数つける
- 装着・装演する人およびアテンダント(補助者)は、必ずこのマニュアルを熟知しておく
- イベントなどにおいては、演出などについて主催者や司会者と十分に打ち合わせを行っておく

※マスコットキャラクター「マッキー」は、装演中などに会話などを発声することは禁止です

■控え室の確保■

- 控え室は、着替えることのできる十分なスペースがあり、着ぐるみを広げることのできる部屋を用意する
- 控え室は外部から覗かれることがないように留意する
[例]控え室は関係者以外の立ち入りを禁止する
入口前にパーテーションを置き、外部から控え室が見えないようにする
- 着ぐるみを置くビニールシートを準備する(汚れた床や地面に直接置くことは厳禁)
- ステージ、登場ポイントに近い場所が望ましい

■運搬車両などの確保■

- 保管ケースを積載できる車両および2人以上の運搬人員を確保する
- 使用の前および後の使用状況を確認し、受け渡しの調整を行う

4. 着ぐるみの中に入る人について

★身長155cm～165cm程度の男女が適任

■基本の服装■

●頭

- ・頭をバンダナ・タオルなどで巻く
- ・長い髪はゴムでまとめ、タオルなどで髪が垂れてこないようにまとめる
- ・ヘアピン、ヘアクリップなどは使用しない

●顔

- ・眼鏡は使用せず裸眼かコンタクトを使用する
- ・やむをえず眼鏡を使用するときは、曇り止め、眼鏡バンドをする

●体

- ・夏 上：長袖Tシャツ
下：ジャージ・スパッツ・レギンスなど足首までであるもの
- ・冬 上：トレーナー・長袖Tシャツ
下：ジャージ・スパッツ・レギンスなど足首までであるもの

●足

- ・靴下履き
- ・裸足は禁止

★注意事項

- ◆手袋、靴下を使用して、中に汗が残らないようにする
- ◆眼鏡・ピアス・アクセサリーは外す
- ◆化粧はとる
- ◆前日の睡眠不足・二日酔いなどは厳禁
- ◆必ず適度なストレッチなど準備運動を行う
- ◆夏場は水分補給を確実に行う
- ◆便意など緊急の場合に備え、アテンダントへのサイン・伝達方法を決めておく
- ◆火気厳禁(着用したままの喫煙は厳禁)
- ◆雨天時の使用は禁止

5. 着ぐるみ各部

■パーツ構成■

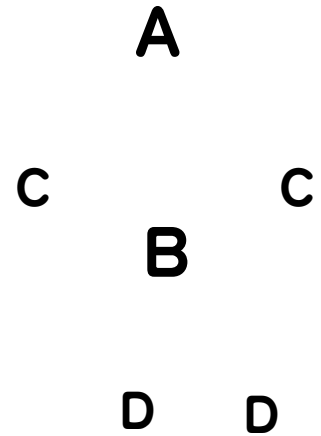
A…頭(蝶ネクタイ付属)

B…胴体(肩から足までつながっている ウレタンパッド入り)

C…手(ベルトでつながったひじ上までである手袋)

D…靴(左右別)

保管ケース



6. 着替えの手順

①ウレタンパッドの入った胴体部分を装着

- ・後ろにファスナーがついているので必ず上まであげる
- ・パッドの形を調整し、なるべく体に丸みを持たせるようにする

②左右確認の上、靴をはく

- ・必ず靴下をはく(大きい場合は重ね履きをする)

③手袋のベルトを首に掛ける

④頭(面)を被る

- ・アテンダントなどに装着してもらう
- ・内部に頭を入れるヘルメットがあるのできっちりと装着し、首のベルトを必ず締める

- ・隙間があれば、タオルなどで調節する

- ・装演中、頭(面)が斜めになりやすいので注意する

⑤手袋を装着する

※取り扱い時、素手で触らず、必ず手袋をする

※必ずアテンダントが補助する

7. 装演時の注意点(中に入る人向け)

■装着■

- 頭(面)の視線を常に意識する
 - ・装着すると構造上、のぞき部分(目・口・額部分)からは真正面が見えないため、顔が斜めになってくるので注意する
- 周囲への注意を怠らない
 - ・胴体周りなど近くの人、特に子どもに十分注意する

■動き■

- オーバーアクション気味に動く
 - ・着ぐるみは手足が短いので、意識的に大きく動かないと動きが小さく見える
 - ・腕は肩から動かさず、肘から動かすようにする
- 子どもを抱きかかえたり、ものを配ったりすることは厳禁
 - ・事故につながる危険性がある
- 会話など発声することは禁止
 - ・キャラクターイメージを壊さないため
- 装演者の感情は表に出さない
 - ・不都合な場合はアテンダントに対応してもらう
- アテンダントと「緊急事態」「トイレ」「我慢できない」などを知らせるサインを決めておく
 - ・周囲から殴る、蹴るなどの行為を受けたときもアテンダントへのサインで対処する

■移動■

- 進行スピード・進行方向については、アテンダントの指示に必ず従う
 - ・着ぐるみの視界が狭いため、目の届かないところはアテンダントの指示により把握する
 - ・階段は注意する
- 走る行為は厳禁

■環境■

●必ず装演時間を守る

- ・装演は30分以内とし、休憩を必ずとる
- ・炎天下では、装演時間を短くするなどし、水分補給を必ず行う
- ・保冷剤などでの体の冷却も効果的

●引火の危険があるので火気のそばには絶対に近づかない

- ・装着したままでの喫煙は厳禁

●雨天・雪の日は屋外に出さない

- ・汚れの原因になる
- ・着ぐるみの足は滑りやすいので転倒する危険がある（転倒した場合、修復不可能な破損や汚れになる場合がある）

★突起物に押し当てないようにする

★装演中に破損したときは、直ちに使用を中止する

8. 装演時の注意点(アテンダント向け)

■位置■

●着ぐるみとは「つかず離れず」を心がけ、何かのときにはすぐ対応できる距離にいる

●必ず着ぐるみの斜め前あたりから先導し、必要なときは手を引いて着ぐるみの歩行を補助する(階段や段差など)

- ・進行方向や人、障害物の存在を確認し、装演者に伝える

●アテンダントが2人以上つく場合は前後に分かれる

- ・後方アテンダントは後方から触ろうとする人への注意を促す(着ぐるみが振り返るときなど、後方は危険)

■声かけ■

- ポイントでは、必ず状況を装演者へ知らせる
- 握手・写真撮影は、必ず正面から“マッキー”に伝えてもらうよう観客にお願いする
 - ・声かけは親しげに装演者にではなく、“マッキー”への声かけとして行う
 - 〔例〕「マッキー、お友だちが握手したいですよ」
 - 「マッキー、前に階段があるから気をつけてね」
- 控え室外で装演者と無駄話をしない

■対応■

- 周囲の状態に絶えず気を配る
 - ・装演者は視界が非常に悪いので、声かけにより周囲の状況を知らせる
- 装演者の様子に気を配り、無理をさせないようにする
 - ・出演時間はあらかじめ決めておき、時間管理の上、切り上げるタイミングを考えておく(延長はしない)
- 着ぐるみ胴体周辺に集まる子どもには特に注意する
 - ・装演者の視界には子どもが入っていないことが多い
- 着ぐるみに危害を加える人には、毅然とした態度をとる
- 「誰が入っているの？」などの質問の答えは「マッキーですよ」とにこやかに一言だけ答える
- 握手や写真撮影の際、人の整理を行う
- 「抱きかかえてほしい」との要望は明るくお断りする
 - ・「手が滑るんです」など動作的な理由は言わず、「マッキーは抱っこできないんです」と説得する

9. 運搬

- ★運搬時は必ず保管ケースに入れて、大事に取り扱う
- ★転がしたり、引きずったりなどは絶対にしない

- 箱が大きいので、運搬時は2人以上の人員を確保する
- 車両運搬の際は、ケースのサイズが入る車を用意する
- 運搬中は揺れるので、ケース内部はエアパッキンなどで隙間を埋めておく
- 横に倒したり、ひっくり返したりしない

10. 収納

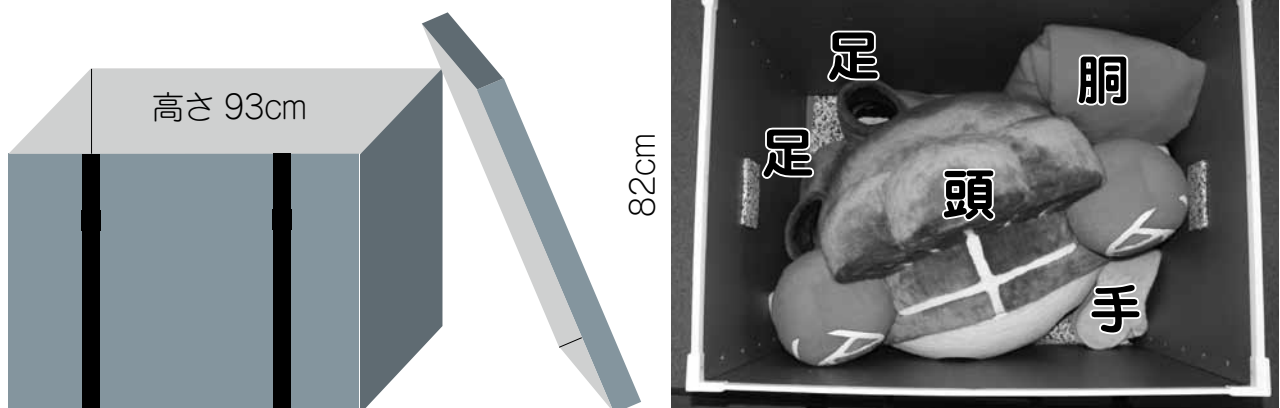
- ★カビ・劣化を防ぐため、正しい片付け方で返納する
- ★破損したり、汚れたときは必ず観光・シティプロモーション課へ連絡する
- ★取扱時は必ず手袋を着用する

■頭(面)の収納■

- マツ、バラおよび葉の部分のみを持たない(破損する場合があります)
- 葉の部分など出っ張っている部分を折らないように注意する
- 顔面を下向きに置かない
- 手入れ方法
 - ・内側は水拭き後、から拭きして、水気をとる
 - ・汗をかいたりしているなので、内側に風が入るようにしてよく乾かす
 - ・消臭・殺菌スプレーをする
 - ・湿気・カビ取り剤を入れる

■胴体・足などの収納■

- 胴体、手はしわにならないようにきちんとたたむ
- 足の裏の汚れをふき取る
- 手入れ方法
 - ・胴体からパッドを取り出し、内側を水拭き後、から拭きして水気をとる
 - ・汗をかいたりしているなので、内側に風が入るようにしてよく乾かす
 - ・消臭・殺菌スプレーをする
 - ・湿気・カビ取り剤を入れる



- ★汚したり、破損した場合は、クリーニング代や修繕費を負担していただきますので、装演や取り扱いには細心の注意をお願いします。